



鳴り物を手にパレードする  
市民ら112日、浜松市中区

## 浜松 平和願ってパレード

静岡県浜松市中区で22日、「ラブ&ピースミュージックパレード」の2回目が行われ、残暑厳しい中、500人が集いました。主催は同実行委員会。

「♪争わないで、傷つけあわないで、平和の言葉（憲法）に守られて」。街で活動するバンドが平和の思いをギターやパーカッションで歌い上げます。子どものダンスチームも3組が出演。元気な踊りにパパやママが目細めていました。

「この場で1時間前に『浜松ママの会』を結成しました」と発言したの

## 「私も何かしないと」

はり歳と2歳の子を持つ女性(37)。「なんだか息苦しい世の中に子どもを送りだすのは不安。目を覚まさない間に合わなくなる」と訴え、大きな拍手を受けました。弁護士、学生からも平和への思いが語られました。

参加者はパーカッション隊を先頭に浜松駅までパレード。福祉関係職員の男性(26)は「戦争せず話し合いで解決できる国になるようにと思い、参加した」と語ります。日本共産党の平賀高成県議、小黒啓子、落合勝二の両市議も参加しまし

た。

玄関を出て見守っていた女性(59)は「安倍さんは戦争の道へ踏み出してしまった。私も『何かしないと』と思う」。戦後、韓国から母ときょうだい4人で引き揚げてきた女性(78)は「本当に大変だった。戦争はイヤ。平和がいいね」と話していました。

今回は街の飲食店などに協力を募り、参加者に店の割引チラシが渡されました。協力店の映画館シネマイーラ館主・榎本雅之さんは「親が戦争に行った世代。伝えるべきことは伝えようと、間接的ですが関わりました」と語りました。